Ｒ６年第１号
農林高校

農場通信

マスコット　やはりん

農業活動での汗を感動へ　～実習による成就感と達成感～

■「伝える・つなげていく」棚田再生プロジェクト（システム園芸科）

令和３年 12 月、本校 OB の長田様から「棚田再生に力を入れているので、農林高校の生徒の力を貸して欲しい」と依頼があり、次年度の令和４年度から「生物活用」の授業で、棚田再生プロジェクトを取り組み始めました。今年で３年目になります。

今年度から、３年生の科目「地域資源活用」で取り組んでいます。生徒は、年６回、学校からバスに乗って甲斐市（旧敷島町）にある「御領棚田」へ向かいます。千枚棚と呼ばれていた田んぼは、現在３００枚ほどに減少しており、生徒たちはこの棚田の再利用に取り組んでいます。「伝える・つなげていく」棚田再生プロジェクトは、生徒たちのアイディアによって、棚田は着々と変わろうとしています。先日は、田植えを行いました。当日は絶好の田植え日和で、みんなでうるち米を植えました。秋の収穫が楽しみです。

■演習林実習を開催（森林科学科）

森林科学科は、三富演習林、南アルプス演習林、御岳演習林の３つのフィールドで演習林実習を行います。日々の座学で森林の機能や造林方法、木材の性質について学んでおり、座学で得た知識を基に、山を歩き体感する学習機会になっています。山の歩き方や木々や沢の様子、におい、動物の痕跡など、五感で山を感じ取ります。１年生は三富演習林にて実習を行いました。山の入り口は針葉樹と広葉樹の混ざった様子で、登るにつれて２０～３０年生のヒノキ人工林となります。「疲れたが、楽しかった」と生徒から聞こえました。今年度、森林科学科では、２年生で南アルプス演習林を、３年生で御岳演習林での実習を計画しています。

■フランス式庭園の花壇の改修工事（環境土木科）

３年生の課題研究・総合実習は、フランス式庭園南通路脇の花壇の改修工事を行いました。造園緑地科が樹木を伐採した後、環境土木科で測量をして高低差や面積を算出し、既存の縁石を修復するか、新たにコンクリートで枠を作るか検討した結果、新たにコンクリートで花壇の枠を作ることに決定しました。丁張りに合わせ型枠を設置する作業では、慣れないため真っ直ぐに設置することができず苦労しました。型枠完成後コンクリートを打設、１週間後型枠を取外し、完成しました。短期間の作業でとても大変でしたが、学ぶことも多く、ものづくりの楽しさを感じられた実習でした。

■造園技能検定３級に向けて（造園緑地科）

造園緑地科は厚生労働省認定資格、技能検定３級（造園）の実技試験の練習を行っています。今年度も全員合格を目指して頑張っています。この資格検定は３ｍ×１．５ｍの区画に図面通りの庭を作るとともに、８０種類の樹木の中から１０種類選ばれた樹木名を答えることで実技試験が合格となります。さらに学科試験も合格しなければなりません。この資格を取得していると、造園検定２級を受験する際に２年以上必要な実務経験が免除になり、現場では有利に働く資格です。

実技試験は７月５日、学科試験は７月１４日。いよいよ本番が近づいてきました。生徒は、竹垣施工、縁石、敷石などの工事作業を覚え、技術を高める練習を繰り返しています。練習回数を重ねるたびに施工課題を仕上げるスピードも速く、仕上がりの様子も丁寧になってきました。未来の造園技術者を目指してみんなで頑張っています。

■「ワイン学」を開講（食品科学科）

新たな学校設定科目の「ワイン学」が今年度より開講しました。学校設定科目とは、特色ある学習活動の一環として学校が独自で設定する科目のことです。令和４年度に入学した食品科学科で科目を選択した生徒が対象です。初年度となった今年は１１名の生徒がワイン学を選択しました。この科目は２年次にワイン仕込み実習をおこなう「総合実習」の応用領域として位置づけられており、高度な成分分析や赤ワインの製品化に取り組みます。授業内容の多くを実験・実習が占めており、実践的な技術を身に付けることができます。なお、これから製品化される２０２３年産のワイン４銘柄は今年９月に販売予定です。

■やはた芋の研究（農業クラブ）

農業クラブでは、甲斐市八幡地区の特産品のやはた芋の栽培を行い、伝統野菜の伝承、地域との交流を目指して取り組んでいます。今年度は袋栽培の土に竹炭を混ぜ込みました。炭は、隙間が多く存在し、脱臭や不純物除去に用いられます。竹炭を土に混ぜることで空隙率が増し、保水性や浸透性が高まるのではないかと考えました。

植えてから 2 週間ほどで無事に芽が出てきました。通常の土で栽培と比較し、竹炭の活用の利点や欠点を見つけ、今後に生かしたいと考えています。

■身延町の一色ホタルの里を案内

身延町の一色地区は信玄の隠し湯と一色ホタルが有名です。システム園芸科３年生の加賀美瑞穂さんは、身延町一色ホタルの里で観光案内をしています。地元身延町の地域発展の為に小学校の頃から活動しています。ホタルの見頃は５月末から６月中旬です。ちなみに、ゲンジボタルが１回に光る時間は、関東は４秒で関西は２秒。一色地区はゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルがいるので、長期間、ホタルを鑑賞できるそうです。

その他の農林高校の活動はホームページ QR コードから